

令和2年2月 発行

洪水時の避難に関するアンケート

結果と分析



香 取 市

新 島 地 区 連 合 自 治 会

新 島 地 区 ま ち づ く り 協 議 会

目 次

新島地区住民の皆様へ	2
1 アンケート調査用紙の配付と回収・集計の経緯	3
アンケート用紙（資料 1）	4
2 アンケート集計結果と分析	
(1) 避難場所	6
(2) 避難を開始した時刻	7
(3) 移動手段	8
(4) 香取市指定の避難所に避難した理由	8
(5) 親戚・知人の家に避難した理由	8
(6) 駐車場に避難した理由	8
(7) ホテルに避難した理由	9
(8) 避難しなかった理由	9
(9) 避難勧告を何で知ったか	10
(10) 避難時に持っていった物	11
(11) 感想	12
資料編	13
まとめ	17
3 アンケート集計を終えて	17

令和2年2月12日

新島地区住民の皆様へ

新島地区連合自治会会長 釜谷 和男

新島地区まちづくり協議会会長 宮本 豊

洪水時の避難に関するアンケート調査御礼と集計結果の報告について

昨年10月13日、台風19号による利根川の水位上昇のため、18時8分に香取市より避難勧告が発令されました。幸いなことに、堤防の決壊はなく、14日2時33分には避難勧告が解除され、平穏な日常が戻ってきました。

今回、新島地区全域が避難の対象になったことは、初めての体験であり、避難の仕方やどこに避難するかなど、決断を迫られた方も多いと聞いています。

新島地区連合自治会と新島地区まちづくり協議会では、今回の避難の様子はどうであったかを、昨年11月に新島地区全戸にアンケートを実施しました。記入のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

その集計結果を今後の行動に生かしたいと考え、ここにご報告いたします。

1 アンケート調査用紙の配付と回収・集計の経緯

令和元年10月28日からアンケート調査用紙（P4・5 資料1）を全戸に配付した。市役所からの配付物等を回覧・配付する担当の地区役員が、各戸へ手渡しで配った。

また、11月10日から17日の間に、配付した地区の担当役員が、記入されたアンケート用紙を回収した。担当役員はそれぞれ集計用紙に集計して区長に渡し、区長はその集計をまとめて、12月1日にまちづくり協議会理事に渡した。回収と集計が短期間であったにもかかわらず、全地区の集計がそろったのは自治会役員の大きな協力があったことを特に記しておく。

12月1日に、まちづくり協議会理事により各地区からの集計をさらにまとめた。

アンケート用紙は**751**戸に配付し、**640**枚を回収した。**85.2%**の世帯が記入してくれたことになる。これは、新島地区住民の地域への協力意識が高いこと、また、今回の避難がいかに強烈な体験であったかを示している。



令和元年10月28日

新島地区住民の皆様へ

新島地区連合自治会会長 釜谷 和男
新島地区まちづくり協議会会長 宮本 豊

洪水の避難勧告発令時の行動について、アンケートのお願い

先日10月13日に、台風19号による利根川の水位上昇のため、香取市より防災行政用無線や緊急情報メールにて、下記のように避難勧告が発令されました。

13日 17時03分 避難準備・高齢者等避難開始について
18時08分 避難勧告について

こちらは、防災かとりです。

香取市総務課から「避難勧告の発令について」お知らせします。

利根川の水位が氾濫危険水位に達したため、利根川以北地区及び、市内全域の利根川浸水想定区域に対し、避難勧告を発令しました。

直ちに高台の避難所へ避難を開始してください。

避難所は、(中略)

また、市外の、牛堀中学校、潮来第二中学校、あずま北小学校、神栖第四中学校にも避難できます。

※利根川以北の避難所のみ記入

21時46分 避難所の状況について

満員のため牛堀中学校は、潮来第二中学校へ（該当避難所のみ記入）

22時18分 避難する際の注意事項

14日 02時33分 避難勧告の解除について

07時39分 避難勧告の解除について

幸いなことに、利根川の決壊は免れ、避難勧告が解除されて平穏な日常に戻りました。しかし、他の多くの地域で川の氾濫・家屋の浸水があり、人的被害や農産物被害が甚大です。今後また利根川の氾濫危機がおこるかもしれません。

新島地区では、皆様の避難の状況等を教えていただき、今後の安全な避難行動に生かしたいと思い、アンケートを実施することとしました。ご記入をお願いいたします。

11月10日(日)から17日(日)の間に、区の役員がアンケート用紙をいただきにうかがいますので、よろしくご協力をお願いいたします。

※ このアンケート調査による個人情報、この調査のみに使用し、データとしてまとめた後に、すみやかに廃棄処分をします。

アンケートは、裏面にあります

利根川氾濫による避難のアンケート

問1 お住まいの地区はどこですか？詳しく書いてください。例 扇島東組

答え()

問2 あなたの家族全員の避難先について、記入例を参考にして、書いてください。

性別		年齢	避難場所	避難開始の時刻	移動手段	避難した理由 避難しなかった理由 (同じ場所にいた家族は、一人だけ記入)
記入例	男 女	32	親戚の家	7時半 ごろ	車	地区の役員と消防団が家に来て、避難するように言ったから
	男 女	3	"	"	"	
	男 女	75	避難しない	/	/	堤防が切れても、うちまで水は来ないと思ったから
	男 女	36	当日不在	/	/	/
男 女						
男 女						
男 女						
男 女						
男 女						

※家族が、六人以上の場合、一マスを二段にして書いてください。

問3 避難勧告を何で知りましたか。○で囲み、その他がある場合、書いてください。

防災行政用無線 エリアメール 緊急情報メール SNS 区の役員・消防 その他

()

問4 避難した方にうかがいます。

(1) 避難する時に、何を持っていきましたか。○で囲み、その他がある場合、書いてください。

水 毛布 ラジオ 携帯電話 懐中電灯 食料品 薬 着替え

その他()

(2) 避難する時に、持っていけばよかったものは、何ですか。

問5 全員の方にうかがいます。今回の避難勧告による避難について、感想があれば書いてください。

2 アンケート集計結果と分析

(1) 避難場所 (参照 P6 集計①、 P7 円グラフ)

洪水時の避難に関するアンケート 集計①												
避難場所		新 島 全 区										
		回答数 2, 003 名										
場 所	年代	乳 幼 児	小中 高生 (名)	19歳～64歳			65歳～			小 計 (名)	合計 (名)	割合 (%)
				男	女	計	男	女	計			
親戚・知人の家		46	92	189	240	429	184	244	428	995	995	50%
避 難 し ない		3	10	77	63	140	104	90	194	347	347	17%
避 難 所	牛堀中学校	4	25	46	48	94	38	43	81	204	332	17%
	潮来第二中学校	3	10	30	24	54	18	22	40	107		
	そ の 他	1	0	5	5	10	3	7	10	21		
避 難 所 以 外	駐 車 場	3	16	50	56	106	34	21	55	180	220	11%
	ホ テ ル	2	1	3	8	11	7	6	13	27		
	介護施設	0	0	4	0	4	3	6	9	13		
当 日 不 在		0	5	40	23	63	7	6	13	81	81	4%
地区役員・消防団 員として活動		0	0	26	0	26	2	0	2	28	28	1%
合 計 (名)		62	159	470	467	937	400	445	845	2003	2003	
割 合 (%)		3%	8%	23%	23%	47%	20%	22%	42%			

※集計表の見方

① 「避難場所」について

利根川本流以北で、香取市指定の避難所を指す。あづま北小学校と神栖第四中学校は、避難者0名だった。

香取市で指定した、上記以外の避難所に行った場合には、その他の欄に記入。福田小学校や栗源小学校・小見川中・高等学校があった。1家族が、中央公民館に避難した。

② 乳幼児と小中高生は、男女の区別をしていない。

③ 「駐車場」は、大型店・道の駅・権現山・稻荷山などの駐車場で、高台や道路の路肩なども含む。

④ 「当日不在」は、13日夜に用事・仕事・旅行・入院などで不在だった数である。

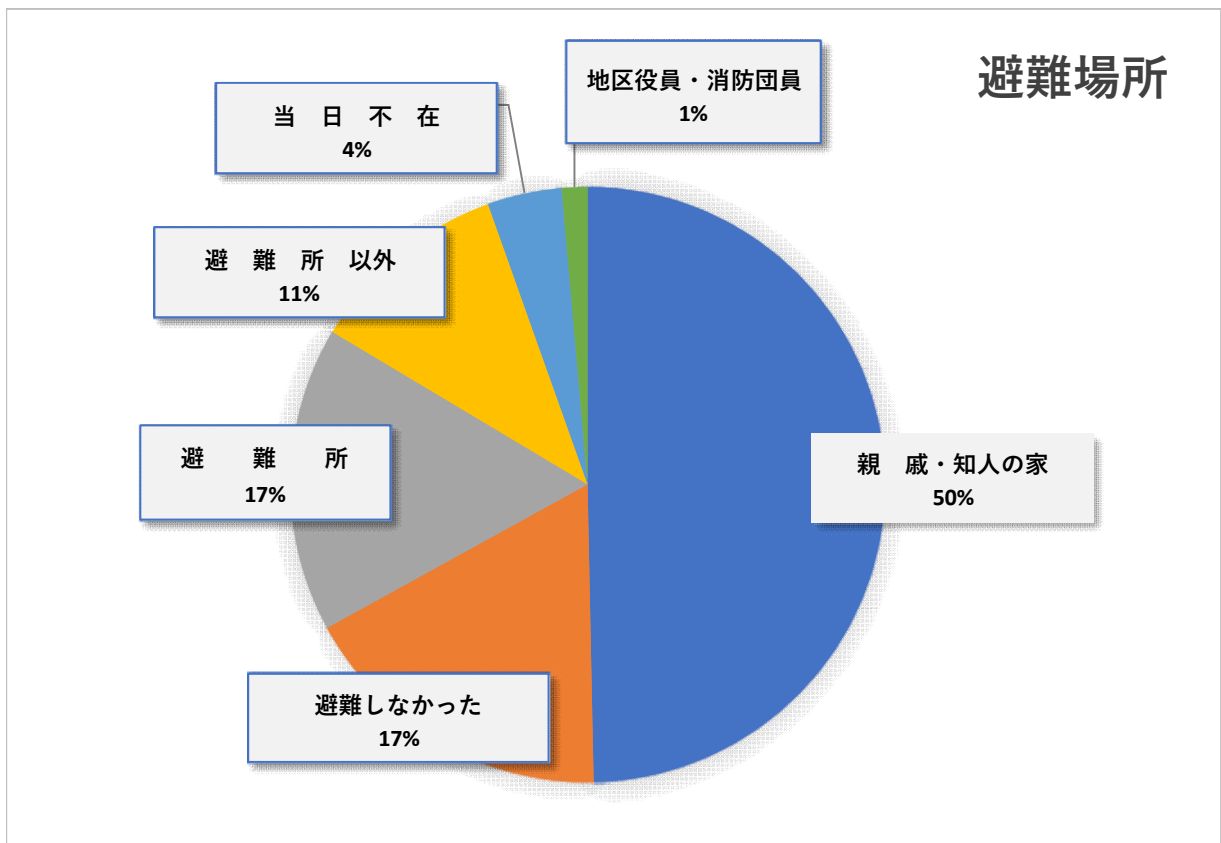
分析

① 回答した2,003名のうち、78%1547名が避難した。また、半数の人が親戚・知人の家に避難した。

② 避難しない人は、17%347名。そのうち56%194名が65歳以上の高齢者である。

③ 牛堀中学校など香取市指定の避難所に17%332名が避難した。

④ 地区役員や消防団員28名が、警戒や避難の声かけ活動をした。



避難所：香取市で指定した避難所。潮来市立牛堀中学校・潮来市立潮来第二中学校・福田小学校・栗源小学校・小見川中学校・小見川高等学校

避難所以外：駐車場（大型店の駐車場・道の駅・権現山・稲荷山・香取神宮などの駐車場や高台・道路の路肩など）

ホテル
介護施設

(2) **避難を開始した時刻**（参照 P13 集計②）

避難開始時刻は、17時〇〇分であったら、17時台の欄に記入した。またこの集計では、乳幼児・小中高生は、合わせて数え、男女の区別をしていない。

集計結果は、**18時と19時台に避難する人が多かった**。これは、17時3分に香取市から避難準備・高齢者避難開始が発令されたのに続いて、18時8分に避難勧告が出されたことと、地区役員や消防団員が各家庭を回って、避難を勧めたことが考えられる。

- ① 乳幼児や小中高生のいる家庭では、17時台から避難する人が増えている。
- ② 21時台やそれ以降は、避難する人が少ない。
- ③ 一旦避難所に避難したが、寒さや健康面での心配から11時頃に帰宅した家族が2家族いた。

(3) **移動手段** (参照 P13 集計③)

移動手段については、「19歳～64歳」と「65歳～」のみ調べた。乳幼児と小中高生の単独での避難はないと解釈したためである。避難には、**99.8% 1 2 9 8名が自動車を使った**。徒歩での移動の2名は、それぞれが、近所の二階のある家に行った。

- ① 新島地区では、自動車なしでの避難は、難しい。避難しなかった1名の感想に「自動車がない。」と書いてあった。自動車での避難が困難な人への支援体制作りが急務である。
- ② 救援の車に乗った人はいなかったようである。自衛隊の車や香取市の広報車がスピーカーで呼びかけていたが、アンケートの回答からは、ゼロであった。

(4) **香取市指定の避難所に避難した理由** (参照 P14 集計④-1)

のべ260名からの回答があった。複数回答による集計である。理由の数多いものを3項目挙げる。

- ① 避難勧告が発令されたから _____ 70%
- ② 地区の役員や消防団が、自宅に来て避難を勧めたから _____ 10%
- ③ 近所の人や知人が避難したから _____ 9%

避難勧告が発令されたから避難したと答えたのが、70%を占めた。地区の役員や消防団員が、自宅に来て、避難するよう勧めたからと10%の人が答えた。自身も避難すべきところ、地区の役員や消防団員が、各戸を訪問して避難を説得した活動があったことを、特筆したい。

(5) **親戚・知人の家に避難した理由** (参照 P14 集計④-2)

のべ798名から回答があった。複数回答による集計である。理由の数多いものを4項目挙げる。

- ① 避難勧告が発令されたから _____ 56%
- ② 地区の役員や消防団が、自宅に来て避難を勧めたから _____ 14%
- ③ 親戚・知人から電話で、避難を勧められたから _____ 13%
- ④ 堤防が切れると思い、身を守るため _____ 10%

防災行政用無線やエリアメールで、避難勧告の発令を知って、親戚・知人の家に避難した人が、56%であった。「親戚・知人から電話で、避難を勧められたから」が13%あり、緊急避難の場合、地区の役員や消防団または親戚・知人が避難を勧めたことが、避難への決断につながったと思われる。

親戚・知人が迎えに来たからと、65歳以上の人の回答があった。

(6) **駐車場に避難した理由** (参照 P15 集計④-3)

駐車場とは、大型店・道の駅・権現山・稲荷山などの駐車場で、高台や道路の路肩なども含む。のべ139名から回答があった。複数回答による集計である。理由の数多いものを3項目挙げる。

- ① 避難勧告が発令されたから _____ 42%
- ② 親戚・知人から電話で、避難を勧められたから _____ 17%
- ③ 利根川の水位を見て、危険だと思ったから _____ 15%

42%が、防災行政用無線やエリアメールで、避難勧告の発令を知って、避難したと答えた。利根川の水位を見て、避難を決めたという人が、15%いた。

他の場所に避難した人の理由に見られない回答に、「パトカーが避難を呼びかけていたから」があった。避難した時刻を調べたところ、19時半頃だった。

犬や猫がいるから駐車場に行ったと、4%の回答があった。避難の際に、動物をどうするかについて、日頃から家族で話し合っておく必要がある。

(7) ホテルに避難した理由 (参照 P15 集計④-4)

のべ27名の回答からあった。複数回答による集計である。理由の数多いものを3項目挙げる。

- ① 避難勧告が発令されたから _____ 37%
- ② 地区の役員や消防団が、自宅に来て避難を勧めたから _____ 19%
- ③ 避難所では、体調の悪化が心配だから _____ 15%

ホテルに避難した人も、他の場所に避難した人同様に、37%の人が避難勧告が発令されたことで避難をした。避難所では、「体調の悪化が心配だから」と、15%が回答した。健康面での心配がある場合、そういう選択もある。

「避難所がよくわからなかった」という回答があった。水害の際の避難場所について、普段から確認しておく必要がある。

避難した理由について、防災用行政無線やエリアメールで避難勧告が発令されたのを知ったことや、地区の役員や消防団が自宅に来て避難を勧めたことを、挙げた人が多い。

(8) 避難しなかった理由 (参照 P16 集計④-5)

のべ309名の回答があった。複数回答による集計である。理由の数多いものを3項目挙げる。

- ① 家の2階に避難すればよいと考えたから _____ 26%
- ② 堤防が決壊しても、家までは水は来ないと思ったから _____ 20%
- ③ 堤防は、決壊しないと思っていたから _____ 18%

さらに、「ペットや動物がいるから」「体調悪化を考えたから」「家族が避難しないので、自分だけ避難できなかった」「避難所が遠くて、徒歩では行けない」など、それぞれに理由があった。避難しないのではなく避難できない人がいる事実がある。

(9) 避難勧告を何で知ったか (参照 P10 集計⑤)

のべ 879 名の回答があった。複数回答による集計である。

洪水時の避難に関するアンケート 集計⑤			
避難勧告を何で知ったか		新 島 全 区	
問 3		回答数 (8 7 9)	
	情 報	回答数	割合 %
1	防災行政用無線 各地区にある無線のスピーカーによる 香取市からの情報	264	30.0%
2	緊急情報メール 携帯電話に入る香取市からの情報	228	25.9%
3	エリアメール 携帯電話に入る、国土交通省や香取市 からの情報	217	24.7%
4	区の役員・消防団員	100	11.4%
5	親戚・知人・近所の人	39	4.4%
6	SNS 1～3以外の携帯電話・スマホやパソ コンの情報	22	2.5%
7	テレビ	5	0.6%
8	外出している家族	3	0.3%
9	市役所からの電話	1	0.1%
10	救援の車、パトカー	0	0%
11	知らなかった	0	0%
合 計		879	

大半の家族が、防災行政用無線、緊急情報メール、エリアメールで、避難勧告を知ったことが読み取れる。100軒の家で、区の役員や消防団員の呼びかけがあり、避難勧告発令を知らせると同時に、避難への説得が行われた。

この集計には表れていないが、問2の回答から、2軒の家で、救援の車やパトカーから避難を呼びかけられていたことがわかった。この集計では、避難勧告発令を知らなかったと答えた家はない。いずれかの情報で、避難勧告発令を知ることがわかる。

市役所からの電話については、集計に表れていないが、各地区の区長に電話連絡があったということである。



(10) 避難時に持って行った物 (参照 P11 集計⑥)

各家庭に1枚ずつ配布したアンケート用紙に、記入があるもののみ集計した。複数回答も多かった。

洪水時の避難に関するアンケート 集計用紙⑥			
避難時に持っていった物		新 島 全 区	
問 4			
物 品	人数 (名)	物 品	人数 (名)
1 携帯電話・スマホ	644	6 懐中電灯	336
2 着替え	488	7 毛布	314
3 食料品	391	8 ラジオ	121
4 水	367	9 携帯電話・スマホの充電器	16
5 薬	349		

その他 持っていった物、持っていけばよかった物

物品名	人数	物品名	人数	物品名	人数	物品名	人数
ア 貴重品	25	ケ ティッシュ	7	チ 重要書類	3	ノ 段ボール	2
イ 現金	16	コ 避難用リュック	4	ツ パソコン	3	ハ 簡易トイレ	1
ウ ブルーシート	16	サ 雨具	4	テ 軽トラ	3	ヒ ウェットティッシュ	1
エ 通帳	14	シ カイロ	4	ト トイレットペーパー	3	フ 米	1
オ 保険証	10	ス スリッパ	4	ナ 位牌	2	ヘ ビニル袋	1
カ バスタオル	10	セ マスク	3	ニ ペットフード	2	ホ ラップ	1
キ ペット	9	ソ 長靴	3	ヌ 防寒具	2	マ テント	1
ク 座布団	8	タ 印鑑	3	ネ 洗面具	2	ミ カセットコンロ	1

分析

- ① 避難時に持って行った物は、携帯電話・スマホが一番多かった。
- ② 携帯電話・スマホを持っていても、充電器の持参は少ない。
- ③ 「持っていった物・持っていけばよかった物」については、多岐に渡っている。季節や家族構成によっても異なってくる。今回の避難は、10月13日で、寒い季節ではなかったのに、カイロや防寒具があげられた。

(11) 感想

感想は、自由記述で記すよう設定し、多くの感想が寄せられた。紙面の都合で、多い感想のみ挙げる。

① 感想

- ア 避難して良かった。教訓になった。避難について考えさせられた。
- イ 地区役員や消防団員、駐在さんに感謝した。
- ウ 近所の声掛けが大切だと感じた。避難所がどこにあるかわかりにくかった。
- エ 避難経路や移動手段に困難と不安を感じた。
- オ 高齢者・障がいのある人・一人暮らし世帯で、不安と課題がある。

② 香取市に要望

- ア 防災行政用無線が聞き取りにくい。対策をしてほしい。
- イ 避難所の数が少ないので、増やしてほしい。水害の時、新島には避難所がなく全員避難だから。
- ウ 避難の際に、支援が必要な高齢者や障がいのある人の数を把握して、優先するよう対策をしてほしい。

自由記述だったので、多岐に渡る感想があった。避難勧告が早目だった、遅かった、避難した後の情報がなく不安だった等、少ない情報に不安を感じた人が多くいた。

「防災行政用無線が聞き取りにくい。」場合は、香取市総合防災マップに掲載してあるが、同じ内容を、携帯電話でのメール配信や、**電話**で聞くことができる（0120-971-088）ことを記しておく。

ここ数年、災害が起こらない年はないほどに、地震・水害・風害などの自然災害が頻発している。テレビや新聞報道での災害復興への様子を見聞しているせいか、「避難所には何もなかった」などの感想もあった。実際に水害が発生しなくて本当に良かったのだが、避難勧告発令直後の一次避難と、その後の二次避難では香取市の対策も物資の供給も変わってくるのが予想される。

また、様々な感想・意見・要望に対し、令和2年度のまちづくり協議会の課題の一つとして取り上げ、問題の解決をめざして活動する計画である。



洪水時の避難に関するアンケート 集計②

避難を開始した時刻		新 島 全 区			
		回答数 1, 5 6 0 名			
年代 開始時刻	乳幼児・小中 高生(名)	19歳～64歳 (名)	65歳～ (名)	合 計 (名)	割合 (%)
17時以前	6	16	24	46	3%
17時3分 避難準備・高齢者避難開始 発令 (香取市防災行政用無線、緊急情報メール)					
17時台	21	53	62	136	9%
18時8分 避難勧告 発令 (香取市防災行政用無線、緊急情報メール)					
18時台	74	276	226	576	37%
19時台	69	261	232	562	36%
20時台	11	81	73	165	11%
21時台	2	35	18	55	4%
21時以降	0	13	7	20	1%
合計(名)	183	735	642	1560	

洪水時の避難に関するアンケート 集計③

移動手段		新 島 全 区			
		回答数 1, 3 0 1 名			
年齢 手段	19歳～64歳 (名)	65歳～ (名)	合 計 (名)	割合 (%)	
車	719	579	1298	99.8%	
徒 歩	1	1	2	0.2%	
バイク	0	1	1	0.1%	
救援の車	0	0	0	0.0%	
合 計 (名)	720	581	1301		

洪水時の避難に関するアンケート 集計④-1

香取市指定の避難所に 避難した理由		新 島 全 区			
回答数		のべ 260 名			
理 由	年 齢	19歳～ 64歳 (名)	65歳～ (名)	合 計 (名)	割 合 (%)
1	避難勧告が発令されたから	107	75	182	70%
2	地区の役員や消防団員が、自宅に来て、避難するよう勧めたから	16	11	27	10%
3	近所の人や知人が、避難したから	15	8	23	9%
4	家族や親せきの者が勧めたから	6	5	11	4%
5	高齢者等避難開始が発令されたから	2	3	5	2%
6	市役所から電話があったから	3	2	5	2%
7	堤防が決壊したら、避難できなくなると思ったから	2	2	4	2%
8	避難するときは、市指定の避難所に行くものだと思っていたから	1	2	3	1%
合 計 (名)		152	108	260	

洪水時の避難に関するアンケート 集計④-2

親戚・知人の家に避難した理由		新 島 全 区			
回答数		のべ 798 名			
理 由	年 齢	19歳～ 64歳(名)	65歳～ (名)	合 計 (名)	割 合 (%)
1	防災用行政無線やエリアメールで、避難勧告を知ったから	229	215	444	55.6%
2	区の役員や消防団員が避難を勧めたから	53	62	115	14.4%
3	親戚・知人から電話で、避難を勧められた	45	56	101	12.7%
4	堤防が切れると思い、身を守るため	42	36	78	9.8%
5	近所の人や知人も避難したから	12	7	19	2.4%
6	親戚・知人が迎えに来たから	0	10	10	1.3%
7	親戚・知人の家に避難した方が安心できる	7	2	9	1.1%
8	香取市から連絡があったから	2	4	6	0.8%
9	体調が悪化しないように(含 付き添い)	2	3	5	0.6%
10	近くの二階建ての家に避難した	2	1	3	0.4%
11	パトカーと消防車が避難を呼びかけたから	3	0	3	0.4%
12	周りの人に迷惑をかけたくなかった	2	1	3	0.4%
13	近くの親戚や知人を誘って避難した	0	2	2	0.3%
合 計 (名)		399	399	798	

洪水時の避難に関するアンケート 集計④－3

駐車場に避難した理由		新 島 全 区			
回答数 のべ 139 名					
理 由	年 齢	19歳～64歳 (名)	65歳～ (名)	合 計 (名)	割 合 (%)
1	防災行政用無線やエリアメールで避難勧告が発令されたのを知ったから	39	20	59	42%
2	親戚や知人が電話で避難を勧めたから	13	10	23	17%
3	利根川の水位を見て、危険だと思ったから	17	4	21	15%
4	取りあえず、車を止められる高台に行った	6	5	11	8%
5	区の役員や消防団から避難を勧められた	6	3	9	6%
6	パトカーが避難を呼びかけていたから	4	2	6	4%
7	命が大事だと思ったから	5	0	5	4%
8	犬や猫がいるから	4	1	5	4%
合 計 (名)		94	45	139	

洪水時の避難に関するアンケート 集計用紙④－4

ホテルに避難した理由		新 島 全 区			
回答数 のべ 27 名					
理 由	年 齢	19歳～64歳 名	65歳～ 名	合 計 (名)	割 合 %
1	防災行政用無線やエリアメールで避難勧告が発令されたから	5	5	10	37%
2	区の役員や消防団が避難を呼びかけていたから	1	4	5	19%
3	避難所では、体調の悪化が心配だから	2	2	4	15%
4	親戚からの勧め	2	0	2	7%
5	ホテルの方が安全だから	0	2	2	7%
6	堤防が切れたら危険だから	1	1	2	7%
7	避難所の場所がよくわからなかったら	0	2	2	7%
合 計 (名)		11	16	27	

洪水時の避難に関するアンケート

集計用紙④-5

避難しなかった理由

新 島 全 区

回答数 のべ 309 名

理 由	年 齢		合 計 (名)	割 合 %
	19歳~64歳 (名)	65歳~ (名)		
1 家の2階に避難すれば良いと考えた	47	32	79	25.6%
2 堤防が決壊しても、うちまでは水は来ないと思った	25	36	61	19.7%
3 堤防は、決壊しないと思っていた	22	35	57	18.4%
4 水がうちに来るまでに、逃げられると思ったから	12	5	17	5.5%
5 ペットや動物がいるから	12	2	14	4.5%
6 渋滞に巻き込まれたら困るから	10	4	14	4.5%
7 体調悪化を考えたから	3	9	12	3.9%
8 家族が避難しないので、付き添った	9	3	12	3.9%
9 避難場所が遠く、徒歩では行けない	2	6	8	2.6%
10 準備していたが、タイミングを逸した	2	4	6	1.9%
11 仕事に行く予定だった	4	2	6	1.9%
12 泥棒が入ったら困る	4	1	5	1.6%
13 避難指示ではなかったから	2	3	5	1.6%
14 避難場所がわからない	0	4	4	1.3%
15 飲酒のため運転ができなかった	1	1	2	0.6%
16 車がなくて、避難できない	1	1	2	0.6%
17 避難所が混雑していたので、戻った	0	2	2	0.6%
18 家を留守にはできないから	0	1	1	0.3%
19 舟があるから、大丈夫	0	1	1	0.3%
20 死を覚悟した	1	0	1	0.3%
合 計 (名)	157	152	309	

ま と め

避難勧告が出る前の、日頃からの備えが大事

① すぐにでも、各家庭でできること

- ア 避難する時に持ち出す物を用意しておく。
- イ 香取市総合防災マップを確認し、家族でどこに避難したらよいか話し合う。
- ウ ペットや動物をどう避難させるか家族で話し合う。
- エ 家族だけで避難できない場合は、あらかじめ、近所の人や地区役員・民生委員等に知らせておく。

② 香取市に要望すること

- ア 避難勧告や避難指示・避難場所について、香取市総合防災マップや広報等で住民へさらに説明をする。
- イ 避難時に健康不安がある人への対策を立案し、急な避難にも対応できるようにする。

3 アンケート集計を終えて

今回のアンケート調査は、**避難勧告における一次避難の実態を調べる**ものでした。地球温暖化の影響か、日本列島は、毎年、災害に見舞われています。9月には、台風15号の風害にも遭いました。10月は、初めての避難勧告発令を体験しました。このアンケートのデータから多くの教訓を得たことをもとに、また発生すると言われている大地震や、利根川が決壊する水害に備えて、大切な命や財産を守ることを考えておきたいものです。今や、被災は、他人事ではないのですから。

このアンケート調査は、住民の方々の協力なくしては結果が出ませんでした。また、地区の自治会とまちづくり協議会の協力により、新島地区で初めての大規模なアンケート調査が行われ、その結果、ようやく調査結果を皆様にお届けできる運びになりました。

さらに、初めての避難勧告発令にもかかわらず、各地区役員と消防団員の方々の無私な呼びかけがあったことに、改めて、危機の際に住民が守られていることを実感しました。

最後に、**利根川が決壊しなくて本当によかった、いつもの平穏な新島でよかった**と心から感謝するとともに、今なお、災害からの復興に立ち向かっている人々の、心安らかなる日々が一日も早く訪れることを祈念いたします。

洪水時の避難に関するアンケート

結 果 と 分 析

発 行 日 令和2年2月12日

発 行 千葉県香取市新島地区連合自治会

千葉県香取市新島地区まちづくり協議会

発行協力 香取市役所 香取市民活動支援センター
〒287-8501 香取市佐原口2127番地
電話 0478(50)1213

決めておこう 持っていくもの 逃げる場所

附洲新田 鈴木 優一郎

(平成 30 年度新島地区まちづくり協議会標語コンクール優秀賞作品)

